

基調講演

連鎖する災害にどう立ち向かうのか
～激甚化への適応を考える～

講演者：松本浩司（NHK解説主幹）

特別講演

県内の大規模土砂災害発生時の避難行動

講演者：保科郷雄（丸森町長）

パネルディスカッション

平成20年岩手・宮城内陸地震、令和元年東日本台風

2つの土砂災害を経験した宮城県より

～複合災害（大規模地震災害後の豪雨災害）に備える～

コーディネーター：板橋恵子（エフエム仙台 防災・減災プロデューサー）

—第43回—
令和7年度

土砂災害防止 全国の集いin宮城

平成20年岩手・宮城内陸地震、令和元年東日本台風

2つの土砂災害を経験した宮城県より

～複合災害（大規模地震災害後の豪雨災害）に備える～

平成20年岩手・宮城内陸地震（栗原市）

特別 企画展

①人形劇『やまのおおじゃくぬけ』
災害伝承に係るポスター展

②宮城県多賀城高校災害科学科 活動報告



丸森町 令和元年東日本台風後の俯瞰図



©瀬尾夏美

人形劇で使った
人形も展示します

人形劇『やまのおおじゃくぬけ』 令和元年東日本台風の記憶を
どう語り継ぐか—台風で被災した丸森町の方々の記憶と古くから
丸森町で語り継がれてきた沼やへびに関する民話から生まれた
創作劇。

日時

令和7年

6月10日 火 13:00～17:20

会場

仙台サンプラザホール

問合せ先

第43回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局（宮城県防災砂防課）

（電話）022-211-3232

主催 国土交通省、宮城県

【後援】内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、（一社）日本新聞協会、（一社）日本民間放送連盟、（一社）全国治水砂防協会、（一財）砂防・地すべり技術センター、（一財）砂防フロンティア整備推進機構、全国地すべりかけ崩れ対策協議会、（一社）斜面防災対策技術協会、（一社）建設広報協会、砂防ボランティア全国連絡協議会、（NPO）土砂災害防止広報センター、一般社団法人宮城県建設業協会、（一社）全国特定法面保護協会東北地方支部、（一社）斜面防災対策技術協会東北支部、（一社）宮城県測量設計業協会、（一社）東北地質調査業協会、（一社）建設コンサルタンツ協会東北支部、全国治水砂防協会宮城県支部、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県砂防ボランティア協会、（公財）宮城県消防協会、河北新報社、tbc東北放送、仙台放送、宮城テレビ放送、kfb東日本放送、エフエム仙台

令和元年東日本台風（丸森町）

6月10日 火 土砂災害防止「全国の集い」

連携行事
(午前中)

令和7年度 宮城県砂防工事施工技術等連絡会

仙台サンプラザ 3階「宮城野」

令和7年度 砂防ボランティア「全国のつどい」

仙台サンプラザ 3階 クリスタルルーム

※出演者、プログラム名称等は予告なく変更となる場合があります。ご了承下さい。

- 12:00 ■開 場/仙台サンプラザホール
■ポスターセッション 『行政・地域の一押し取組報告』
- 13:00 ■開会式典
1) 挨拶: 国土交通大臣、宮城県知事、来賓(国会議員等)
2) 土砂災害防止功労者表彰式
- 14:05 ■基調講演
連鎖する災害にどう立ち向かうのか～激甚化への適応を考える～
講演者: 松本 浩司 (NHK解説主幹)
- 14:35 ■特別講演
県内の大規模土砂災害発生時の避難行動
講演者: 保科 郷雄 (丸森町長)
- 14:55 ■ポスターセッション 『行政・地域の一押し取組報告』
■特別企画展 人形劇「やまのおおじゃくめけ」関連展示
宮城県多賀城高等学校 災害科学科 活動報告
- 15:10 ■パネルディスカッション
平成20年岩手・宮城内陸地震、令和元年東日本台風
2つの土砂災害を経験した宮城県より
～複合災害(大規模地震災害後の豪雨災害)に備える～
コーディネーター 板橋 恵子(エフエム仙台 防災・減災プロデューサー)
パネリスト(学識者) 井良沢道也(岩手大学名誉教授)
パネリスト(地 域) 千田 勝(元栗原市職員、栗駒山麓ジオガイド)
パネリスト(地 域) 穴戸 克美(丸森町住民、元消防署職員、民生委員)
パネリスト(高校生) 後藤 敏仁(多賀城高校災害科学科3年生)
パネリスト(高校生) 耳塚 千紘(多賀城高校災害科学科3年生)
パネリスト(高校生) 森合 ことり(多賀城高校災害科学科3年生)
パネリスト(行 政) 齋藤 秀一(宮城県 土木部 防災砂防課長)
コメンテーター 草野 慎一(国土交通省 砂防部長)
- 17:20 ■閉 会 齋藤 和城(宮城県 土木部長)

【開催主旨】

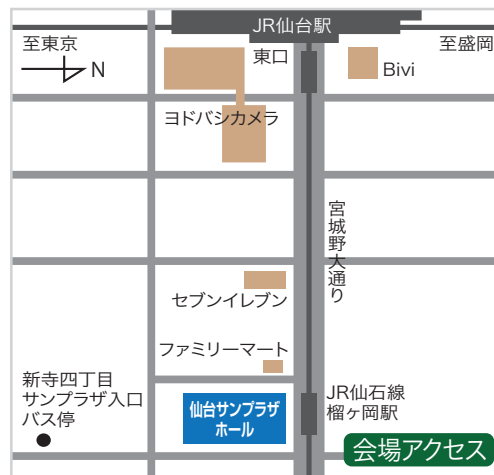
2024年(令和6年)1月1日、石川県能登地方を震源とし、輪島市と羽咋郡志賀町で最大震度7を観測した「令和6年能登半島地震」。年末年始の帰省者による人口増加、地震による津波、土砂災害などにより人的被害が拡大するなど社会的にも大きな影響を及ぼしました。

復興に向けて一歩を踏み出していこうとする矢先、同年9月には台風14号から変わった温帯低気圧、および活発な秋雨前線や線状降水帯などの影響で、奥能登地域を中心に河川の氾濫、土砂災害が多発し、多数の犠牲者を出しました。

このように地震等の自然災害から復旧途上で別の自然災害が発生する“複合災害”は単一起こる場合と比較して広域かつ甚大な被害をもたらします。

宮城県は地震頻発地域であります。能登半島のような「大規模地震後の豪雨による“複合災害”の土砂災害」は発生してはおりません。

近年の気象変動に伴う集中豪雨等の増加で甚大な土砂災害が頻発する中、能登半島と同規模の地震、豪雨が発生した場合、『土砂災害の複合災害』のリスクと備えるべきことについて議論し、全国に向けて発信することを目的として開催するものです。



- ・JR仙石線 榴ヶ岡駅下車(出口2)すぐ
- ・JR仙台駅東口より徒歩13分
- ・市営バス(JR仙台駅西口5番のりば・308系統) 新寺四丁目サンプラザ入口下車徒歩5分

※会場駐車場は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用いただきますようお願い致します。

6月11日 水 現地研修会

現地研修会はCPD-CPDSの対象外です。

詳細は参加登録WEBサイトをご確認のうえ、お申込み下さい。

※コース内容は諸事情により変更となる場合があります。

【Aコース】 令和元年東日本台風災害地(丸森町)

8:30~16:00 松川火山砂防事業地(蔵王町)

蔵王ジオパークセンター(蔵王町)

【Bコース】 平成20年岩手・宮城内陸地震土砂災害地、

8:30~17:00 栗駒山麓ジオパークビジターセンター(栗原市)

※定員になり次第締め切らせていただきます。



五福谷川遊砂地(丸森町)



松川火山砂防事業地(蔵王町)



荒砥沢地すべり地(栗原市)



栗駒山麓 ジオパーク ビジターセンター

参加申込要領

■お申込み期限 令和7年5月28日(水)

- ◎参加をご希望の方は、下記「宮城県 Webサイト」からお申込みください。
6月10日のメインプログラム(開会式典、シンポジウム)のみの参加の場合、当日受付もできますが、配布資料の準備等のため、できるだけ事前の申込みをお願いいたします。

宮城県 Web サイト

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sabomizusi/zennkokunotsudo.html>

宮城県防災砂防課 で検索下さい。



- ◎6月11日(水)現地研修会に参加する場合は、参加費用が必要となります。

現地研修会に参加される場合、事前のお申込みが必要となります。

詳しくは宮城県Webサイトをご確認の上、お申込み下さい。

- ◎宮城県Webサイトでは宿泊の事前手配も行っております。

《お問い合わせ先》

第43回土砂災害防止「全国の集い」運営委員会事務局
(宮城県防災砂防課) 電話 022-211-3232